

科目名	造形表現				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2021年度 後期	単位数	1		
担当教員	葉山 亮三				
内容および計画	造形における表現とは形や色、材料などに係わりながら、描いたり、作ったりする造形活動を通して、発想や構想の能力、創造的な技能を高めるものである。造形表現では主に素材、技法の体験活動を行う。立体表現では素材の特性、三次元の構成を楽しむ。平面表現の基本となる色彩、線、面を踏まえ、モダンテクニック等の技法体験を通じて、材料や用具の特性を活かし、感じたこと、想像したこと、伝えたいことを表す幅広い術を養う。また描画表現を通して、五感を使って対象を感じ取る感性を育成し、共同制作により、大きな対象を構成する力を得る。これまでの自分たちの活動を振り返ることで鑑賞の能力を養う。				
1	オリエンテーション 鑑賞 ～アンリ・ルソーとその作品～				
2	色彩の理解 ～色水づくり～				
3	空間遊び1 ～紙工作～				
4	空間遊び2 ～インスタレーション～				
5	空間遊び3 ポップアップカード				
6	線の表現 多様な線 ～オリジナル筆を作る～				
7	線から面へ ～クレヨンの線、絵の具の面～				
8	色面構成 ～色紙を組み合わせて作る～				
9	モダンテクニック1 凹凸の利用 ～フロッターージュ～				
10	モダンテクニック2 偶然の利用 ～ドリッピングとデカルコマニー				
11	モダンテクニック3 型の利用 ～スパッタリング～				
12	モダンテクニック4 版の利用 ～ステンシルとスタンピング～				
13	描画表現 ～見て、触って、味わって描く～				
14	共同製作 ～ムナーリの木～				
15	まとめ ～絵画表現と幼児画の持つリアリティ～				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	幼児の造形表現	渡辺一洋	ななみ書房	978-4-903355-38-2	2015
参考書	『木をかこう』 ブルーノ・ムナーリ 作 須賀敦子 訳 有限会社・至光者 発行 『幼稚園教育要領<平成29年告示>』文部科学省 『幼稚園教育要領解説』文部科学省				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	作品、リアクション・ペーパー				70
	試験				30

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの造形素材、技法及び道具について基本的な扱い方を身に付ける ・演習を通じて、発想力を豊かにし、素材を活かして表現する ・こどもの表現を理解し、指導する力を得る。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：造形教育者として、小学生を対象とした河合塾美術研究所こども教室の講師を11年勤め、その間、幼児、小学生を対象とした造形教室、造形ワークショップを幼稚園、美術館、アートイベントにて実践してきた。
その他	